

## 要 約

### 試験委託者

環境省

### 表題

ジイソプロピルナフタレンのオオミジンコ (*Daphnia magna*) に対する急性遊泳阻害試験

### 試験番号

A040536

### 試験方法

本試験は、「新規化学物質等に係る試験の方法について<藻類生長阻害試験, ミジンコ急性遊泳阻害試験及び魚類急性毒性試験>」(薬食発第1121002号, 平成15・11・13製局第2号, 環企発第031121002号, 2003)に準拠して実施した。

- 1) 暴露方式: 半止水式 (24時間後に試験液の全量を交換)
- 2) 暴露期間: 48時間
- 3) 試験濃度 (設定値): 対照区, 助剤対照区, 0.013, 0.023, 0.041, 0.073, 0.130 mg/L  
(ただし, 0.130 mg/Lは試験液調製可能最高濃度)

公比 1.8

助剤濃度一定: N,N-ジメチルホルムアミド 100 µL/L

- 4) 試験液量: 100 mL/容器
- 5) 連数: 4 容器/試験区
- 6) 供試生物数: 20頭/試験区 (5 頭/容器)
- 7) 試験温度: 20±1 °C
- 8) 照明: 室内光, 16時間明 (800 lux 以下) / 8時間暗
- 9) 分析方法: 高速液体クロマトグラフィー (HPLC)

## 結 果

### 1) 試験液中の被験物質濃度

分析の結果、測定値の設定値に対する割合は、試験液調製時において 78～87%、その 24 時間後において 52～67% であった。

予備検討において、生物を入れない試験液より、生物を入れた試験液のほうが濃度減少が顕著であった。したがって、被験物質濃度の主な減少理由は、生物への移行によるものと考えられた。

### 2) 24 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EC50) :	0.077 mg/L ( 95%信頼区間 : 0.066～0.089 mg/L )
0%阻害最高濃度 :	0.029 mg/L
100%阻害最低濃度 :	> 0.096 mg/L

### 3) 48 時間暴露後の結果

半数遊泳阻害濃度 (EC50) :	0.035 mg/L ( 95%信頼区間 : 0.029～0.050 mg/L )
0%阻害最高濃度 :	0.016 mg/L
100%阻害最低濃度 :	0.050 mg/L